会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和元年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」Ⅰ．教職員の資質能力向上の推進　（ⅱ）教職員研修プログラムの構築事業 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第2回ICT活用研修WG |
| 開催日時 | 令和元年8月29日（木）　10：00〜12：00 |
| 場所 | 品川プリンスホテルNタワー17F東京都港区高輪4丁目10 |
| 出席者 | 委　　員：山根大助（学校法人京都中央学院）、岡村慎一（学校法人YIC学院）、岩切直子（学校法人麻生塾）、冨田伸一郎（株式会社ウチダ人材開発センタ）、猪俣昇（株式会社ウイネット）、合田美子（熊本大学）※ネットにて会議参加、加藤猛（学校法人穴吹学園）請負業者：飯塚正成（有限会社ザ・ライスマウンド） |
| 議題等 | １）前回までの内容確認と日程確認前回までに決められた内容を振りかえった。・今後の実証研修とWGの日程を以下の通り確認した。・令和元年9月19,20日 ICT活用研修実証研修＠京都・令和元年9月20日 第３回WG・令和元年10月24,25日 ICT活用研修実証研修＠新潟　※日程変更・令和元年11月7,8日 ICT活用教員育成実証研修＠東京・令和元年11月8日 第４回WG・令和２年1月22日 第５回WG・令和２年2月7日 報告会２）京都で実施するICT活用実証研修の内容について最終提出に必要な成果物を次の通り確認した。カリキュラム・シラバス・教材・教具・教授方法・評価方法・会場マニュアル会場マニュアル以外の準備状況を報告し、あわせて昨年までの実証研修から明らかになった課題と解決策について報告を行った。改善内容について（課題と解決策）◆全体的な改善内容・誰でも研修を行えるようにするため、属人的な要素を排除することを目的に「事前学習動画」を多く準備する・昨年の研修で作られた教材から良い成果の物を教材に盛り込む・事前学習のチェックをきちんと行えるようなチェックシートを設ける◆個別の改善内容<インストラクショナルデザイン>１用語が難しい、範囲が広いという課題・指導案を記入できることにフォーカスする・自身の授業でどう活用するかを事前に考えてくる２チェックリスト・動画としてのクオリティ、教材としてのクオリティを両面から評価できるようなチェックリストとする３事前課題への取り組み状況が異なる対象者への研修になる恐れ・教材の質を上げる指導を行う、技術は個人ワークで動画教材の視聴でカバー・事前学習が十分できている人にはブースを設けて疑問に答える<動画教材制作>１動画教材を自分の分野に引きつけて、最後まで作り切ることを目標・指導案シート2を埋めるためのポイントを講義で・撮影ポイントを3〜5点に絞る２事前動画・3つの領域に分けて置いただけになっていたもののポイントを絞ったものにする・昨年の研修で成果の見られた教材を作成した教員のインタビューを動画に取り込み、理解が深まるように変更する報告内容について、参加委員からの質疑をもとに成果物の内容について検討を行った。また、次の点について確認した。・専門性の異なる教員に対する指導の注意事項について・グループ分けに関する視点と参加者への説明について３）実証研修の運営について・9月に京都で行う実証研修に必要な環境について確認を行った。・実証研修の教材について、精度が高まっていると判断されることから、新潟での実証研修については、京都の結果を踏まえて参加者を決定することを確認した。 |

以上